

高校生でもできる動物愛護活動

～ポスターで意識向上を目指す～

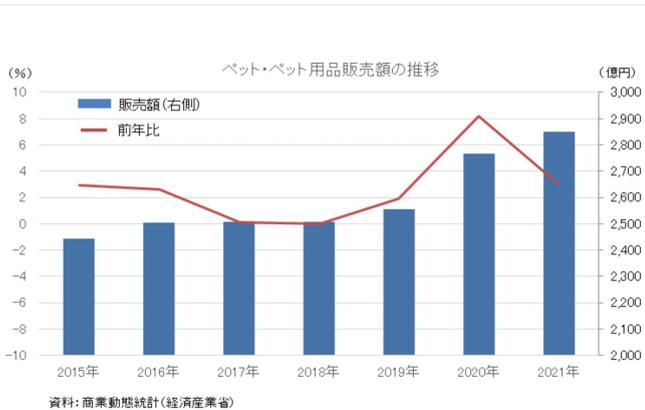
研究者 2年5組24番 田原緋香莉
 2年5組6番 片桐冨
 2年3組8番 牛山絢心
 2年5組1番 井嶋彩希
 2年6組18番 島田帆夏

1. 研究目的・概要

近年、少子高齢化やコロナ禍によるストレスから癒しを求めペットを飼う人が増えている。ペットは私たちに安らぎを与えてくれる一方で、世話の大変さや人間の都合による飼育放棄や虐待の問題が後を絶たない。尊い命を守り、人々が正しくペットと付き合いしていくために、動物に関する資格がない高校生でもできることとして、ポスター作りをしようと思った。

2. 現状

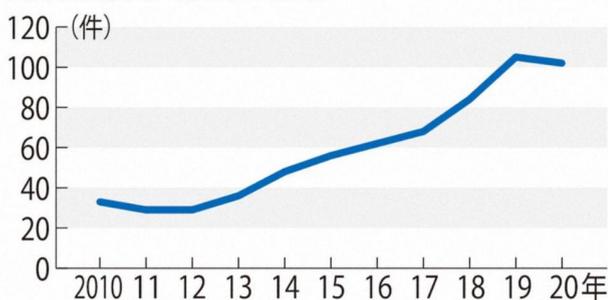
(1)コロナ禍でペットを飼う人が増加しているという現状がある。



↑ペット・ペット用品販売額の推移(2022年3月11日『ペット産業の動向ーコロナ禍でも堅調なペット関連産業』経済産業省より)

(2)ペットを飼う人が増えるとともに動物への虐待件数も増えている。

動物虐待事件数の推移



※動物愛護法違反容疑での摘発件数。警察庁による

↑【図解】動物虐待事件数の推移(2022年4月7日『動物虐待検挙が過去最高170件、猫最多ー警察庁』時事ドットコムニュースより)

3. 研究方法

(1)長野市保健所、ハローアニマル(動物愛護センター)、獣医師(アリウ記念動物病院)の方々に取材をする。
 (2)(1)の取材内容をもとにしてアンケートを作成し、ペットに

関する情報で具体的にどのようなことが世に知られていないのかを調査する。

(3)(2)のアンケート結果をもとにポスターを作成し、ポスターの内容を保健所の方に添削していただく。

(4)動物に興味のある人が集う長野市内のペットショップ、動物病院、猫カフェ、ペットサロンに作成したポスターを貼らせていただく。

(5)SNS(Instagram)にポスターを投稿し、人々からの反応を得たり、世に広めたりする。

4. 結果

取材を通してアンケート内容を決定した。

【アンケート内容】

※①～⑥は全員共通、⑦～⑩はペットを飼っている方のみ

①動物を捨てることが犯罪であり100万円以下の罰金又は1年以下の懲役を科されることを知っていますか。

②犬猫の寿命が15年から20年であることを知っていますか。

③保健所では譲渡会を開催していることを知っていますか。

④保健所でしつけ教室が行われていることを知っていますか。

⑤動物の権利について考えた事はありますか。

⑥飼わない勇気が必要であることを理解していますか。

⑦散歩ではマナー糞尿の処理他人のペットとの距離感の意識を理解していますか。

⑧近所の人に動物を飼っていることを理解されていますか。

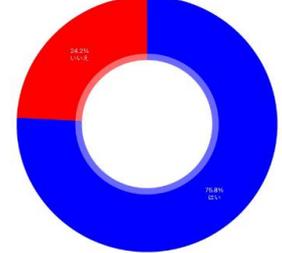
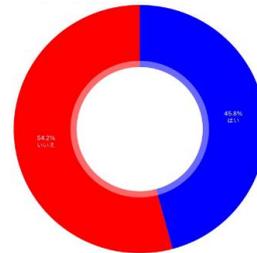
⑨予防接種や病気の治療費を理解していますか。

⑩最後まで面倒を見る覚悟を持っていますか。

【アンケート結果】

①のアンケート結果

⑤のアンケート結果



※青:はい 赤:いいえ

「いいえ」の割合が特に大きかったのは①と⑤で、①は54.2%、⑤は24.2%という結果だった。

(1)アンケートで分かった世に知られていないことなどから6つのポスターテーマを決定した。

【動物を飼うことに関する注意喚起より】

①動物を捨てることは犯罪であり、罰金や懲役が科されること

②動物の自由:5つの権利について

③飼わない勇気の大切さ

④終生飼育の責任

【長野市保健所関連】

⑤愛犬の正しい飼い方しつけ方教室

⑥譲渡会

ポスターテーマに基づき作成↓↓↓



【ポスター作りの過程】

canvaというアプリを使い、各自のタブレットでポスター作りを行った。著作権に配慮し、ポスターに使用する動物の写真は猫カフェの猫の写真、クラスの人々のペットの写真を使用した。テンプレートや壁紙、フォント、フレームにも著作権があるため何度も確認をし、本当に外部に出しても大丈夫なポスターであるかを吟味した。動物に興味がある人(ペットをこれから飼う可能性がある人、ペットを飼っている人等)を対象とし、長野市内のペットショップ、動物病院、動物園、ペットサロンに作成したポスターを掲示させていただいた。(現在、ペットショップ5件、動物病院7件、動物園2件、ペットサロン8件に掲示させていただいている。)また、動物園と動物病院にはチラシにしたポスターも置かせていただいた。



↑城山動物園様にポスターを貼らせていただいた様子

(2)「MY PROJECT AWARD 2022」に参加してみる

- ・課題探究を通して得ることができた自分に身についた力を知ることができた。
- ・私たちが制作したポスターに対しての反応を得ることができた。例:「このポスターの〇〇という言葉がよい」「ポスターの

デザインが素敵で、オリジナル性があるよ」など

・研究の発表により、動物愛護の大切さと、SNS活動を長野県の高中生や大人に広めることができた。

5. 今後の課題

- ・ペットショップ等に貼ったポスターに対する人々の反応を直接得られる良い方法を見つけることができなかったため、来年度ではもっと世間の反応を得られるような方法を見つけ、そこで得られた反応を活動改善につなげていけるようにしたい。また、SNSで投稿したポスターに対する人々の反応をSNSの機能を用いてアンケート調査し、私たちのポスターに実際どれほどの影響力があったのかも調べていきたい。
- ・今回ポスターを貼る場所は動物に興味のある人が集う場所のみに限定していたが、次回は限定などはせずに、より多くの人の目に触れる場所に貼ったり、学校などの施設への配布もしてみたい。
- ・身近な長野県内での動物愛護や虐待の実情をインタビューなどをして知り、それに対し自分たちには何ができるのかをさらに考え行動していきたい。

6. 謝辞

今回の探究学習において、担当の先生をはじめ、ポスター掲示に快く協力して下さった動物に関する施設の方々、また生徒の皆さんとその保護者様、ご協力頂いた全ての方々に深く御礼申し上げます。

7. 引用・参考文献

- 1)2022年3月11日『ペット産業の動向ーコロナ禍でも堅調なペット関連産業』(経済産業省)
https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20220311hitokoto.html
- 2)2022年4月7日『動物虐待検挙が過去最高170件、猫最多一警察庁』(時事ドットコムニュース)
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022040700385&g=soc>
- 3)環境省『5つの自由』
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2_708a/pdf/02.pdf
- 4)長野市保健所動物愛護センタートップページ(長野市)
<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/naganoshiaigo>
- 5)アプリ『canva』<https://apps.apple.com/jp/app/canva>

—スターバックスが人気である理由— 誰もが使える快適な空間

研究者 2年1組28番 舎川祥歩
2年2組24番 関口璃紗
2年4組33番 水出伊織
2年5組32番 宮坂莉子

1. 研究目的(問題意識)

よくスターバックスを利用するが、学生だけでなく幅広い年齢層の利用者がいると感じたため、人気の理由を知りたいと思ったから。

どんな利用目的で利用しているのか、どんな人が利用しているのかを知る。

2. 現状(先行研究の分析)

文献調査をして、カフェや飲食店など店側が集客のためにどんな工夫をしているのかを知る。

①レジ横の商品が買いたくなるように仕向ける
人間の行動心理として、レジの横に置いてある商品を買いたくなるというものがある。消費者の購買意欲を掻き立てるように工夫されている。私たちは無意識にその誘導に従う。



上の写真のように、スターバックスでもレジの横にショーケースを置いて、スイーツやサンドイッチなどの商品を並べている。

②人の目を引く

他社の商品と差をつけることで特別感を生み被りを避ける「スノッブ効果」を生み出している。スノッブ効果が表れているのはフラペチーノであり、タリーズコーヒーやドトールコーヒーにはない特徴である。

次に利用者にはどんな傾向があるのかを調べる。

①興味のあることのみを拾う

自分の好きなもの、興味のある情報にのみ反応する「選択的知覚」という能力を持つ。

一度スターバックスの商品に興味を持ってもらうことができれば、その後人は自然とスターバックスの情報を集めるため、商品を買ってもらいやすくなる。

②よく目にする商品を買いたくなる

記憶に残っているものを「売れているもの」と思い込む「利用可能性ヒューリスティック」という能力がある。

テレビCMは行っていないが、Instagramを利用して、SNSを多く利用する若者向けに新作情報を発信している。

スターバックスにもこれらの工夫がされていると考え、その点にも注意して店舗に行き観察する。

3. 研究方法

店舗に行き、利用者の傾向を調査する。スターバックスだけでなく、比較店舗としてタリーズコーヒーを選び、スターバックスで行った調査と同様の調査を行う。

調査内容

- ・来店人数、混雑状況
- ・学生人数
- ・滞在時間(店舗に許可を取り、来店客がどのくらいの時間滞在していたか計測し、その平均をとる)
- ・利用目的(年齢層、性別ごと大まかに分けて調査する)

①スターバックス

(1)長野駅前店 (2)(3)長野C1店

	日時	来店人数	学生の人数	滞在時間
(1)	7/13 (水) 14:20	31人	2人	20~80分
(2)	7/27 (水) 9:30	14人	1人	15~100分
(3)	12/5 (月) 10:20	21人	2人	25~150分

※(1)の7月13日は新作フラペチーノ(桃)の発売日

(3)の12月5日は新作フラペチーノ(塩キャラメル)の発売から5日たった日

利用目的

- ・勉強
→学生に多く、滞在時間も長くなる傾向にある
- ・パソコン、iPad
→社会人に多く、同じく滞在時間が長い
- ・会議

→室内だけでなくテラス席でも行っている
 数人で集まって会議している人もいれば、パソコン
 を使ってリモートで行っている人もいる

- ・話す
 →女性に多い 同時にスイーツを食べたり飲み物を
 飲んでいる人がほとんど
- ・スイーツなどのお店の商品を食べる
 (1人で食べている人を数えた)
- ・読書
- ・コーヒー豆を買う
- ・編み物

②タリーズ

(タリーズコーヒー 長野アイビースクエア店)

日時	来店人数	学生人数	滞在時間
10/26(水) 14:25	12人	4人	25分

利用目的

- ・コーヒーを飲む
 →調査しに行った日は男性の1人客が多かった
- ・スマホを使う
- ・話す
 →女性に多い

4. 結果・考察

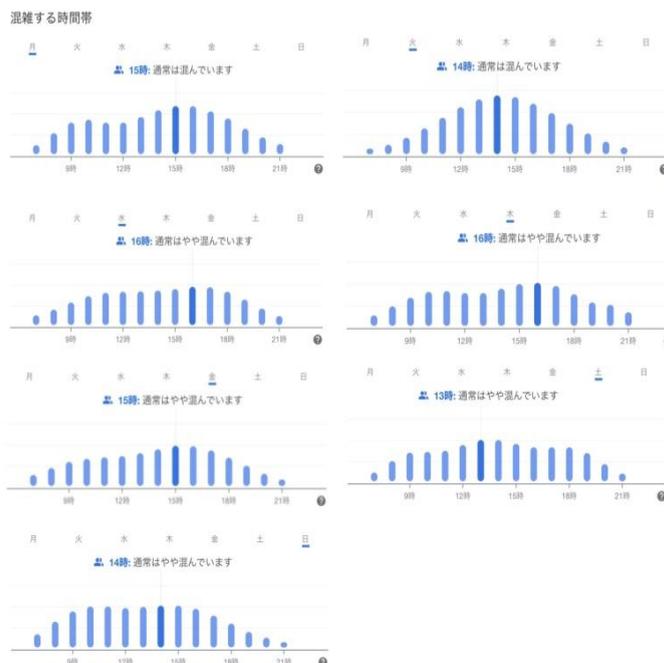
調査の結果から利用目的によって滞在時間が異なり、
 勉強やパソコン作業をしている人は滞在時間が長くな
 るとわかった。

スターバックスもタリーズコーヒーも平日に行ったため
 大人の人数に比べて学生の人数は少なかった。
 スターバックスに関して、新作が発売された直後は利
 用人数が多かった。特に上記の利用目的の「話す」
 「スイーツを食べる」という人の人数や女性客の数が多
 かった。あ

2店舗を比較するとスターバックスの方が滞在時間が長
 く、また利用人数も多かった。

混雑状況(スターバックス長野駅前店)

どの曜日のどの時間帯に混雑しているのかを調べる。
 しかし今回全ての曜日の混雑状況を計測できなかつ
 たので、調査結果に加えてGoogleの混雑状況のグラ
 フを利用した。



グラフより休日はお昼ごろに最も混雑している。平日
 はどの曜日でも混雑状況はほぼ同じである。また、午後
 2時から4時の間に混雑のピークがきている。午後の方
 が利用者数が多いため、学校や会社から帰ってきた
 後に利用していると考えられる。平日と休日を比べると
 平日のピーク時の人数と休日の3時ごろの人数がほぼ
 同じであるので、休日の方が利用人数が多い。

スターバックスとタリーズコーヒーの営業時間を比較す
 ると、
 スターバックス 7:00～22:00
 タリーズコーヒー 10:00～20:00
 となり、スターバックスの方が営業時間が長く、その分
 利用者も多くなるとわかった。

5. 自分の提案(答え)

(1) 提案1

スターバックスにしかない特別感を演出している。フラ
 ペーチーなどの広告をSNSで発信し、若者を集客してい
 る。

(2) 提案2

幅広い年齢層の人が利用できる快適空間である。店
 内は広く、駅に近い場所や人の集まりやすい場所にある
 ということから、学生も社会人も多くの人が利用できる。
 店内の利用目的もカフェとして利用するだけでなく、会
 議や勉強にも適している。このようにさまざまな利用方法
 があるため、利用者数が多い。

6. 今後の課題

比較対象の店舗を一回しか調べられなかったので滞
 在時間をはかる人数が少なく、うまく比較できなかった。
 まとめているときに気づいたことだが、調査の日には水
 曜日が多く、曜日をずらして計測した方が良かったと感
 じた。またもう少し正確な利用目的や滞在時間の計測が
 できればもっと明確に人気である理由を考察できると
 思った。

7. 引用・参考文献

- 1)サクッとわかるビジネス教養 行動経済学
(株式会社 新星出版社 2021年3月25日初版発行、
2021年6月5日第5刷発行 監修・阿部誠 発行・富永
靖弘)
- 2)Googleマップ スターバックス長野駅前店の混雑状況
1週間のグラフ

「ジェンダーレスの実現可能性」

～教育・政治の観点からみたジェンダーレスの現状～

研究者 2年 6組 17番 柴本 幸之輔
34番 松本 項樹

《1. 研究目的・動機》

1. 根拠のない偏見(～のくせに、～らしく)をよく聞くが、それに不満や 疑問を感じた。今回は日本で特に顕著である女性労働者差別に焦点を当て、現状から改善できる方法を考えたい。

2. 既に浸透した差別意識は簡単には払拭できない。男女差別の根本的解決にはまだ幼い頃に培う差別意識というのを改善すれば良いと思った。未来を生きる子供たちへの適切な教育法、内容を提案したい。

《2 先行研究の調査》

ジェンダーギャップ指数とは、日常生活や社会制度などでの男女の格差(ジェンダーギャップ)を示す指標。WEF(世界経済フォーラム)が公表している。例えば教育分野では男女の識字率、初等教育就学率などの数値によってスコアを出している。(他にも経済、政治、健康の分野がある)世界的に見てどの国でどの程度男女格差があり、理想の男女平等社会と現状との距離を数値化し、目に見える形にしたもの。

《世界ジェンダーギャップ指数ランキング2022》 上位5か国と主要な国々の順位

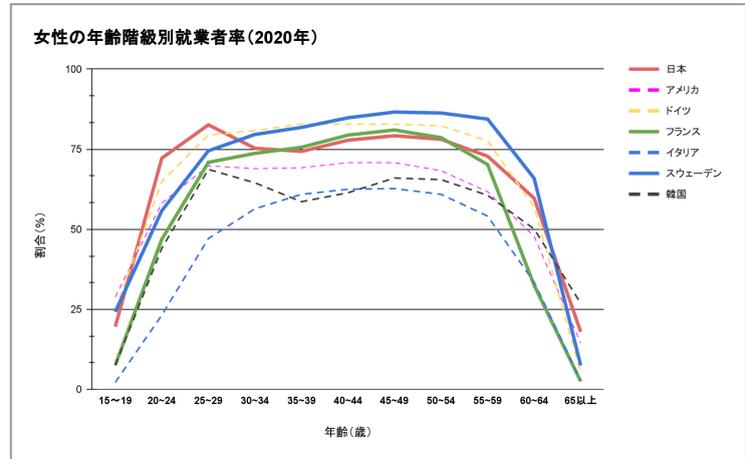
順位	国	数値	前年比(順位変動)
1	アイスランド	0.908	-
2	フィンランド	0.86	-
3	ノルウェー	0.845	-
4	ニュージーランド	0.841	-
5	スウェーデン	0.822	-
10	ドイツ	0.801	↑1
15	フランス	0.791	↑1
22	英国	0.78	↑1
25	カナダ	0.772	↑1
27	米国	0.769	↑3
63	イタリア	0.72	-
79	タイ	0.709	-
83	ベトナム	0.705	↑4
92	インドネシア	0.697	↑9
99	韓国	0.689	↑3
102	中国	0.682	↑5
116	日本	0.65	↑4
146	アフガニスタン	0.435	-

日本は146か国中
116位とかなり下位!!

ジェンダーレスが他国に比べて進んでない!
G20加盟国で言えばドイツ、フランス、イギリスが、EU加盟国で言えばフィンランド、ノルウェーが高順位に位置している。

1.女性労働者の現状

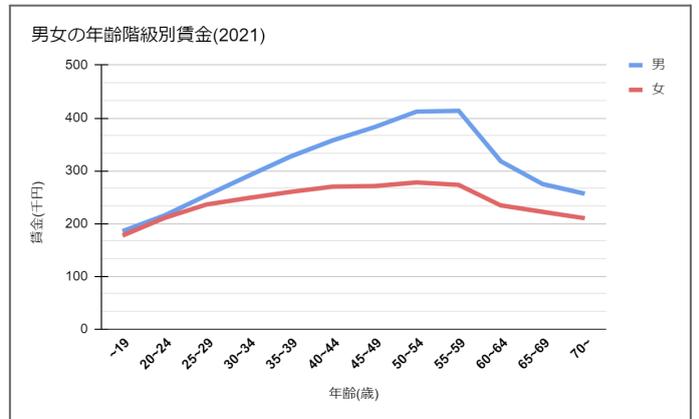
表1:女性の年齢別就業率の国際比較



独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2022」2.人口・労働力人口第2-13-2表 性別・年齢階級別就業率 より作成

ジェンダーギャップ指数の順位が高いスウェーデンやフランス、ドイツは20代後半から30代後半にかけて女性の就業率は緩やかな上昇傾向にある。日本では20歳代後半から30歳代にかけて女性の就業率は下降傾向にある。

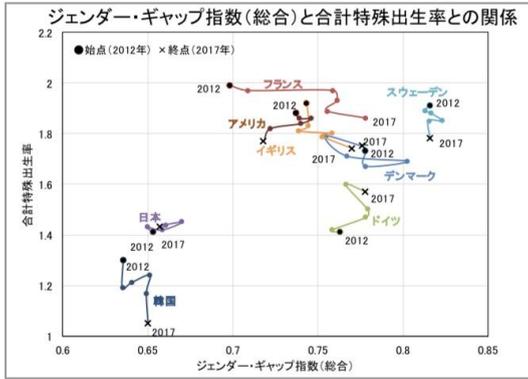
表2:男女の年齢別賃金差



厚生労働省「令和2年賃金構造基本統計調査の概況」p2 第2表 性、年齢階級別賃金及び年齢階級間賃金格差 より作成

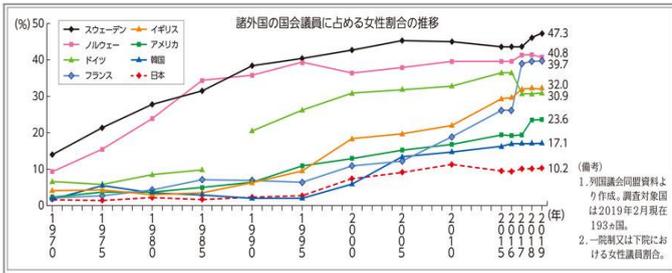
女性が男性の賃金を上回ることではなく、30代後半から50代後半にかけて特に賃金の差が大きく開いている。

表3:ジェンダーギャップ指数と合計特殊出生率



内閣府 政策統括官(経済社会システム担当) p3 ジェンダーギャップ指数(総合)と合計特殊出生率の関係
参考資料② より抜粋

表4:国会議員に占める女性割合の国際比較

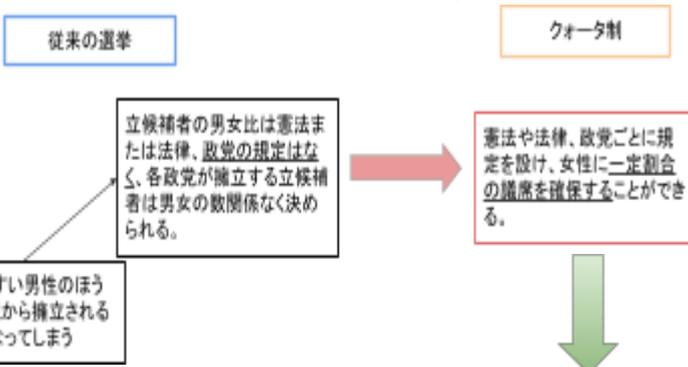


男女共同参画局「共同参画 令和元年6月号」p8 内閣府男女共同参画局推進課 諸外国における政治分野
への女性の参画に関する調査研究～イギリス・フランスの取組に学ぶ～ より抜粋

ジェンダーギャップ指数が高いスウェーデンやフランスは合計特殊出生率、女性国会議員割合が高く出ている。

クォータ制

スウェーデンの選挙制度は比例代表制のみで、格差是正のために行うポジティブ・アクション(強制的是正措置)の一つであるクォータ制を導入している。



女性が党内の主要ポストを経験することで対外選挙の候補者として擁立されやすくなる。そして、女性が選出される機会を多く得ることができる。

スウェーデンでは最初に自由党が1972年に、ドイツでは1980年代後半に、イギリスは1990年代に入ってからクォータ制を導入している。

2.世界・日本におけるジェンダー教育の現状

世界ジェンダーギャップ指数ランキング
～教育部門～

順位	国	数値	前年比
1	カナダ	1	-
1	フランス	1	-
1	スウェーデン	1	↑37
1	日本	1	↑91
51	米国	0.996	↓15
68	アイスランド	0.993	↓30
81	ドイツ	0.988	↓26
97	韓国	0.976	↑7
146	アフガニスタン	0.482	-

日本は他の21か国と同率1位

・日本では、2015年に文部科学省が通知した『性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について』において、自認する性別の制服・衣服の着用、活動への参加、名簿上の扱いなどが認められている。

3.『男女平等を目指すスウェーデン』

ここで、ジェンダーギャップ指数ランキング世界上位で男女平等への政策も充実しているスウェーデンの労働環境と教育現場を参考に、日本の現状と比べてより良い提案を探していこうと思う。

〈労働力の女性化〉

スウェーデンの女性の労働力率は他国と比較しても高く、その理由をスウェーデンが行っている労働政策を参考に考えていきたい。

～手厚い子育て支援～

1974年 両親保険法(両親手当制度)
実子が生まれるか、養子縁組をした場合、両親は合わせて480日間の育児休暇を取る権利があり、うち390日間は給与の最大77.6%の給付が受けられる。
→充実した給付によって夫妻共に経済的な余裕が生まれる。夫が子育てを担っている間、妻が再就職したり、職場復帰しやすい。

～女性の経済的自立～

○日本
所得税の課税単価が個人単位ではあるが、配偶者や扶養家族がいる場合、配偶者控除、扶養控除が適用され、課税額が軽減される。
また年金では「第3号被保険者」として専業主婦でも夫の年金を受給できる。
→結婚し子供をつくる方が単身よりも減税される。→夫がいれば働かなくても老後の心配をする必要がない。

○スウェーデン

1971年から完全な個人単位の課税が行われる。所得控除は基礎控除のみ。年金も個人単位で計算される。
→生活の充実や老後の安心を高めるためには女性も今までの男性と同じ水準でバリバリ仕事をし、年休支給額を増やすしかない。

この課税制度により女性の積極的な社会参画が期待できる。

～歴史的背景～

かつてのスウェーデンは夫絶対主義で経済的な権限を妻に渡すことはなく、日本のように夫が給料を渡し、妻が家計を管理するという習慣がなかった。

→ある意味で昔から日本の主婦は家事を担うという社会的な役割を得ていた。

→スウェーデンではむしろ家にいる婦人というのは評価されず、社会的地位もなく、男女不平等の不満が高まった。

→社会的地位獲得のため積極的に職に就いた。

古くからの習慣がスウェーデンで男女平等への関心が高いことの原因にもなっている。

〈世界的なジェンダーに対する教育内容〉

スウェーデンで実際に行われている教育の政策を日本でも取り入れてみたら良いと思った。そして、そうした場合に日本にどのような良い又は悪い影響が出るのかを調査した。

スウェーデンが教育面で取り入れている政策一

①教育法に基づき、**教育機関でのジェンダー、ステレオタイプ(人が持つ固定観念による偏見、差別)は禁止している。**

②全ての幼稚園が伝統的なジェンダーのパターンを見直し、固定観念にとらわれず探究する事を義務づけた
具体例:教育者が生徒、児童を呼ぶ際に「男の子」「女の子」ではなく、「友達」や「名前」で呼ぶなど細かいところまで意識している。

※他にもいくつか政策はあるが、今回は国としての取り組み(

①)と各幼稚園や学校としての取り組み(②)のわかりやすい2つを挙げた

以上より、法律などの国としてだけでなく各幼稚園・学校単位の細かな部分でたくさん工夫をしている事が分かった。しかし、これだけ見ると日本と違う点は、

ジェンダーレスへの取り組みを義務化しているかそうでないかだけであり、そこまで特別なことは行っていない様に思われる。

次に、この2つを日本で実施した場合考え得るメリット・デメリットを考察した

《メリット》

①・性差を法により禁止することで強い拘束力が生まれる
②・アイデンティティの確立において非常に重要な時期から自然とジェンダーレス意識を持つことで、差別意識が芽生える前に正しい教育ができる

《デメリット》

①・いきなり拘束される事で、反発が生じるかもしれない
②・自己が確立しきらないうちの教育により生物学上の男女と言う「区別」も曖昧になってしまうのではないかと

以上より、日本では法の改正など大きな所からではなく、まず身近なところから時期や内容に注意して教育していったら良いのではないかと

《3. 先行研究に対する考察・提案》

○「女性労働者の現状」からの考察

表1より、日本では20歳代後半から30歳代にかけて女性の就業率は下降傾向にある。

→妊娠、出産となり職場を離れているからと考えられる。

表2より、結婚の多い30～34歳の男性の賃金は約29万円、女性の賃金は約25万円。年収に換算すれば男性は約350万円、女性は約300万円である。男女合わせて約650万円もの年収があれば子育てもできるが、女性が非正規雇用の場合であったり、退職してしまった場合、出産後は収入がなくなり男性のみの年収となってしまう。
→妊娠、出産という休職せざる負えない状況であるにも関わらず、休職のための支援政策が不十分である可能性がある。

表3、4より、クォータ制を導入した年代からの両国の女性議員数はかなり増加していることがわかる。女性国会議員が多いスウェーデン、フランスは合計特殊出生率も大きい。

→女性国会議員が増えることで、結婚、出産、子育てや教育など特定のニーズに合わせた政策が生まれやすくなり、出生率も上がってくるのではないだろうか。

○「女性労働者の現状」からの提案

クォータ制の導入

スウェーデン

・出産、産後の入院費は完全に税金によって運営されている。
・子供が生まれたときや養子をもたらした時、両親は一人240日ずつ育児休暇を所得することができる。
・6歳から19歳までの子供の学校は完全に税金によって賄われる。

フランス

・出産前後の検診代や出産費用は基本的に無料。
・約10万円の産産準備金や3歳まで毎月支給される約2万円の子育給付金には所得制限がない。



日本でもこの程度の出産前後の保障制度を導入したい！！

クォータ制を導入することで、日本で顕著に少なかった女性国会議員が増え、出産や育児などの特定のニーズに合わせて

た政策を正確に、より多く打ち出してもらうことができる。
→妊娠、出産後の休職のための支援が充実し、経済的余裕を確保したり、職場を一度離れてもそのまま復帰しやすくなり、女性の社会参画の機会が増えるのではないかと思う。

「世界・日本におけるジェンダー教育の現状」、「男女平等を目指すスウェーデン」からの考察・提案

・スウェーデンでは、教育機関での男女平等の実現が義務付けられているが、日本では急な対応に反発が生じる可能性があるため、国単位の法ではなくまずは身近な場所から工夫していった方が良いと思った

・自身の中で男女の「差別」だけでなく「区別」もなくなってしまわぬよう、ジェンダー教育は幼稚園からなおかつ呼び方を変えるのではなく、遊ぶおもちゃを男女分けず好きなもので遊べるようにするなど自然な流れで、男女で生き方に違いを生ませないような教育をしていけたら良いのでは無いかと思った。

・国から発表された資料などをより個人にも伝わりやすいように国→各都道府県→学校(特に小・中学校)→児童・生徒というような流れを作ってみると良いのではないかと思った。

・また、この研究でジェンダー教育に関しては人から聞くこともいいの思うが自分から学ぶことに大きな意味があると思ったので、教育機関もジェンダー教育の時間は子供に調べさせて現状などを知ってもらう機会を与えたほうが良いと思った。

《6. 今後の課題・展望》

・今回はスウェーデンやフランスといった女性の社会参画が進んでいる国を参考に調査、考察を行ったが、日本と同じくジェンダーギャップ指数が低い韓国や、中国の現状や、対策は何をしているのかも調べて比較してみた。

・考察で出てきた提案を更に具体化して、実現に近づけた

・今後、自分たちが教育する側に立ったときに今回の研究を生かしたいと思う

《7. 引用・参考文献》

・世界経済フォーラム 2022

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2022.pdf

・世界経済フォーラム 2021

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2021.pdf

・内閣府男女共同参画局

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2022/202208/202208_07.html

・厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2020/dl/13.pdf>

・内閣府政策統括局

<https://www5.cao.go.jp/keizai2/keizai-syakai/future2/2020409/shiryou2.pdf>

・内閣府男女共同参画局

<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/201906/pdf/201906.pdf>

・国税庁

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1199.htm>

・公平を目指すスウェーデンの取り組み

<https://www.swedenabroad.se/globalassets/ambassador/japan-tokyo/documents/ファクトシート-公平を目指すスウェーデンの取り組み.pdf>

日本のキャッシュレス化を進めよう

研究者 2年 2組 38番 目黒巧翔 16番 小林真織
21番 島田蒼大 32番 馬場祐太

1. 研究目的(問題意識)

日本人は現金への信頼度が高く、キャッシュレスについての知識や意識が乏しいため他国に比べてキャッシュレス化が進んでいないため。

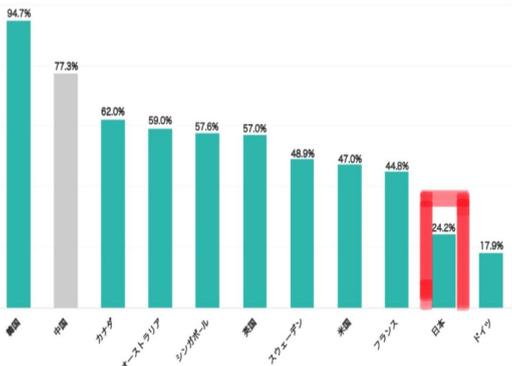
また現金文化が根強い日本人が海外に行くと現金、財布を盗まれるケースが高いためキャッシュレス化を進めてそのような被害を無くしたいと思ったから。

Q. 2012年の1年間で海外旅行中に何の紛失/盗難被害に遭いましたか。(MA, n=1000/%)

	n	%
全体	1000	100.0
1 現金	353	35.3
2 財布	222	22.2
3 その他	205	20.5
4 買い物品	164	16.4
5 デジタルカメラ・カメラ	163	16.3
6 クレジットカード	128	12.8
7 携帯電話	100	10.0
8 バッグ	91	9.1
9 貴重品	86	8.6
10 洋服	81	8.1
11 パスポート	39	3.9
12 トラベラーズチェック	33	3.3
13 スーツケース	24	2.4
14 航空券	17	1.7
15 パソコン	16	1.6

2. 現状(1)

下のグラフから1位は韓国で94.7%。2位が中国で77.3%。3位がカナダで62.0%となっている。他国が60%~40%台となっているのに対して、ドイツの17.9%を上回って、日本は24.2%となっている。このことから日本は先進国の中でもかなりキャッシュレス化が進んでいないことが分かった。さらに、このままの状態だと最新情報技術が国際的に普及していき、決済面においてもデジタルデータ化が推進していく世界各国の国際風潮に日本が乗り遅れてしまう可能性があることも分かった。



(2) 現状の原因

① 現金への信頼が厚い

国民の視点→治安が良く、スリなどの盗難リスクが低いいため現金を安心して持ち歩くことができる

政府の視点→日本の紙幣・硬貨製造技術は高く、偽札が出回る可能性が低いいためキャッシュレス化をそこまで押し進める必要はない

↓↓↓↓

これらの国民と政府の考えから日本は現金への信頼が厚くキャッシュレス決済の需要があまりない

② 加盟店が少ない

キャッシュレス決済を導入するために店舗は多くの費用を払わなくてはならない。(例えば、導入の初期費用や手数料など)特に個人経営などの規模の小さい店舗はキャッシュレス決済に対応していない場合が多い

↓↓↓↓

経済的なデメリットから店舗がキャッシュレス決済を導入しないためキャッシュレス化が進まない

3. 研究方法(研究手法)

☆屋代高校生を対象にキャッシュレスに対するアンケートを行う

① キャッシュレス決済を利用したことがあるか

② どのくらいの頻度利用しているか

③ 現金決済と比べて、キャッシュレス決済は便利だと感じるか

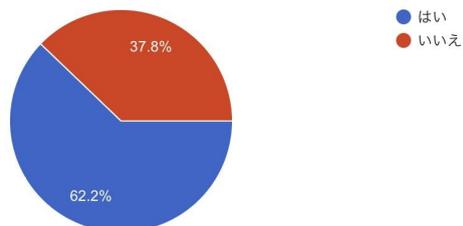
④ 今以上にキャッシュレス決済が普及するべきだと思うか

④の理由

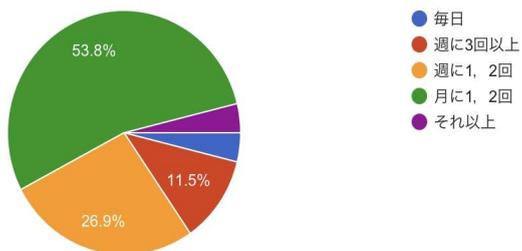
☆インターネットを使ってキャッシュレスのメリットとデメリットを調べる

4. 結果・考察

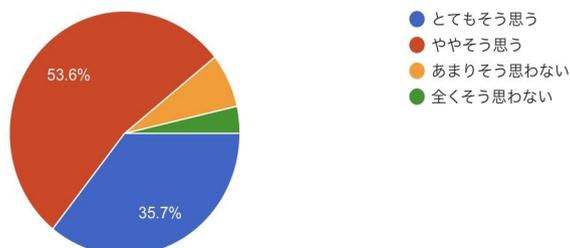
①の回答



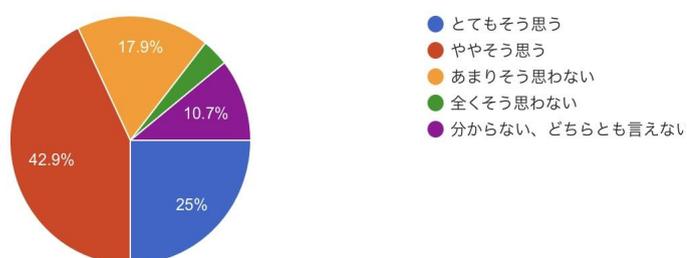
②の回答



③の回答



④の回答



④の理由

- 現金でない分財布が不必要になりかさばることがなくなるし、紙幣、貨幣を作るてまがはぶけるようになるため。しかし扱い慣れるまでは危険ではあるため、一概に普及すべきとは言えない。
- 盗まれる心配がなくなるから。
- 便利だけど入金がめんどくさいから。
- 他の国はもっとキャッシュレス経済が発展しているから。
- 現金の方が安心だから

☆キャッシュレス化のメリット

○ポイントや優待がつく

キャッシュレス決済は、多くの場合利用サービスごとのポイントや優待がつく。

○実店舗での支払いが楽

現金では小銭を出したりお釣りを受け取ったりと、やり取りも多く、レジでの支払い時にもたつく原因にもなるが、キャッシュレスはスピーディーに支払いができる。

○インバウンド消費の高まり

訪日観光客にとって、滞在期間中、日本円に両替した現金通貨だけで過ごさないといけない場合、買い物や食事にもセーブがかかってしまう。しかし、キャッシュレスが普及すれば安心して消費できるため、インバウンド消費が高まることが予想される。

☆キャッシュレス化のデメリット

○モバイル決済における個人情報提供問題

モバイル決済では、プラットフォームとなる企業に支払いに

関する情報が届く。この個人情報を提供することに抵抗を感じる人も多い。

○キャッシュレス決済導入のための費用が高い

キャッシュレス決済を導入する店舗の規模によって導入できない場合もある。

○高齢者がキャッシュレス決済に対応できず困ってしまう
これまで現金での支払いがほとんどだった高齢者が新たな決済方法の誕生によって困惑してしまう可能性が高い。

○偽のQRコードを使った新たな詐欺が蔓延してしまう

外国では、偽のQRコードを作成し本来のQRコードの上に貼付け、消費者が偽物と知らずにQRコード決済することで支払金をだまし取る詐欺が発生しています。日本でも同様の詐欺が起こらないとも限らない。

5.考察

・キャッシュレス決済を利用している人が6割を超えたが利用する人の半数が月に1,2回しか使っていなかった。

・現金決済は便利だと思う人が約9割に対して今後キャッシュレス決済が普及すべきだと思う人が6割に減少したのは、まだキャッシュレス決済に対する信用が低いということだろう。

・キャッシュレス決済が普及すべきかという質問に対してあまりそう思わないと回答した人の理由が現金の方が安心するからという理由から現金文化が根強いということも分かった。

・現金払いはどこでも使え、お金の出入りも一目瞭然ですが、カード払いに比べると手数料やレジでの手間などデメリットも多いのも事実。

・現金払いに比べてカード払いには、ポイント還元やお会計がスムーズになるなどメリットも多いため、利用シーンに合わせて現金とカードを使い分けるとよいと考えた。

6. 引用・参考文献

1)世界のキャッシュレス化普及率ランキング-海外と日本の「電子マネー普及率・決済事情・課題」の現状を比較

<https://www.digima-japan.com/knowhow/world/14404.php>

2)海外旅行者の8.6%がトラブルに遭遇—現金を盗まれたのはどんな時？

<https://www.itmedia.co.jp/makoto/articles/1304/16/news078.html>

情報の性質

研究者 2年 3組 2番 葦沢 優虎
2年 3組20番 高津 明和

1. 研究目的(問題意識)

近年、フェイクニュースなどの社会問題がある情報社会の中で騙されたり偏った意見を持たないような姿勢で受け取ってどう考えていくべきか考えていきたい

2. 現状(先行研究の分析)

(1) (原因・現状1)

マスコミには保守的な考えを持つ右派と革新的な考えを持つ左派がありどちらか片方の情報を受け取るだけだと偏った考え方になってしまう可能性がある

(2) (原因・現状2)

SNSや加工技術の発達によってフェイクニュースに騙されやすくなったという現状がある

3. 研究方法(研究手法)

- ・自分達がメディアに触れてどう受け取ったか考える
- ・複数の新聞社の新聞を読み比べる
- ・自分達以外の人の受け取り方を調べる

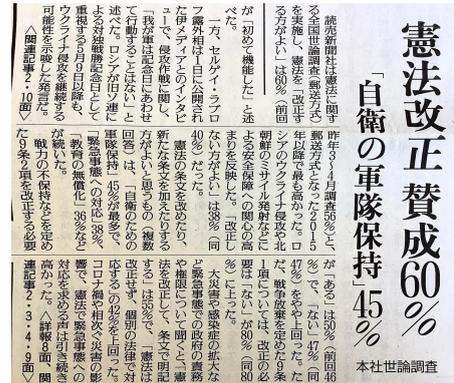
4. 結果・考察

(1) 記事の読み比べ

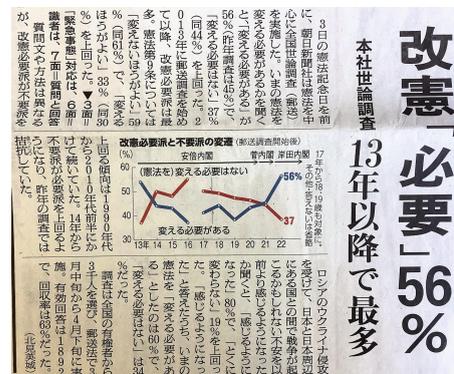
例憲法改正についての記事



信濃毎日新聞の記事



読売新聞の記事



朝日新聞

◎一社のみ新聞を読んだ印象

- ・朝日新聞を読んで改正派多いように感じた
- ・信濃毎日新聞を読んで憲法改正に対して良いイメージを持てなかった

◎複数社の新聞を読んだ印象

- ・同じ出来事を扱っているため内容は似ているが見出しや関連記事や言い回しや取り扱い情報の部分などによって、各社の論調が表れていると感じた。

(2) フェイクニュース

2020年2月末

『トイレットペーパーの多くは中国で製造・輸出しているため、新型コロナウイルスの影響でこれから不足する』という、SNS上の投稿が人々の不安を煽り、瞬く間に世間を騒がた。このようなことが何故起こったのかを研究した。

<どう受け取ったか>

自身の生活に直接関係している事だったので驚きつつも不安になった。葦沢

『トイレトペーパー無くなるなら、ティッシュでも使うか』高津

<今一度見直してみると・・・>

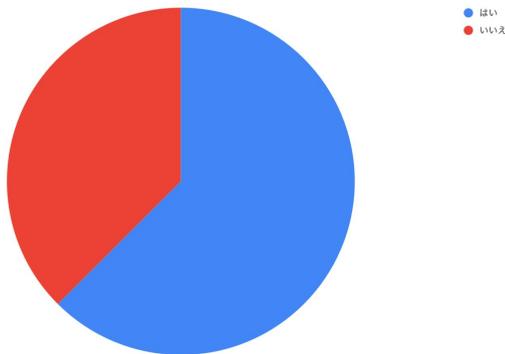
二人ともこの情報が正しいのかの精査もせずに受け入れてしまっている。

(3) アンケート結果

① 情報を受け取る時に気を付けている事

- 複数のメディアや新聞やサイトから情報を集めるようにしている
- その情報が信用できるか、本当のことを発信しているか考えている
- 情報を鵜呑みにしない

② フェイクニュースに騙されたことがあるか



騙された事があると答えた人62.5%
騙された事はないと答えた人38.5%

③ なぜ騙されたのか

- 何も考えず情報を信じてしまったから
- 不安を煽られたから
- 多数の人がその情報を信じていたから
- 一つのメディア、新聞、サイトからしか情報を受け取ってなかったから
- 公式が情報を発表しているというふうに装っていたから

5. 自分の提案(答え)

(1)

- 一社のみ新聞を読んでいるだけだと出来事に対するその会社の論調に染まってしまうと思ったので、複数社の

新聞を読むかその会社の論調をあらかじめ意識する方が客観的に見れると思った。

- 受け取る情報が一部分だと印象が大きく変わるのが情報の性質だと思いました。

(2)

- このように情報の真偽の精査をする前に、受け入れてしまったのは、僕たちの『関心フィルター』を容易に通ったからだと考える。つまり、人々の恐怖心を煽っていたり、大衆の注意をひいたり、現実的ではないながらも妙に現実味のある情報は、人々に浸透しやすい性質を持つと考える。なので、特に人の不安を煽るような情報はより正しく精査していく必要があると思った。

(3)

- アンケートから他の人達の情報の受け取り方を知り、僕達が行った二つの調査から考えたことが重要だということを感じた
- アンケートをとった人たちの内、半数以上の人々がフェイクニュースに騙されたという経験があることからフェイクニュースはもう身近な物だと感じた

◎上記の三つの調査から僕達は情報を受け取る時には情報を鵜呑みにせずしっかり精査し、多くのメディアから受け取り、情報の発信元であるメディアはどのような論調を持っているのかを前もって知っておくということ提案します。

6. 今後の課題

- アンケートをとった範囲が小さいので僕たちの提案をより確実なものか確かめるためにアンケートをとる範囲を広くしたり、より多くの人に回答してもらるようにする。

- 僕たちの提案は既存のものでもあるので新しい提案を考えてもいきたい

7. 引用・参考文献

朝日新聞 2022年5月3日の記事

読売新聞 2022年5月3日の記事

信濃毎日新聞 2022年5月3日の記事

日本政府は定年制の廃止を行うべきか否か。 ~定年制は廃止した方がいいのではないだろうか~

研究者 2年 1組 4番 池田春樹 大谷美羽 岡澤悠貴 吉澤奎吾

1. 研究目的(問題意識)

高齢化社会による労働力不足から日本は福祉制度が危機に瀕する可能性があり、この問題解決のために政府は定年制を変更しようとしている。

定年制を廃止することで高齢者や企業にどんな影響があるのか。

2. 研究方法

政府が定年制を廃止することで日本にどのような影響があるのかを調べる。

トピックに関連した書籍や新聞記事をはじめ、インターネットを用いて政府や調査会社によるデータを収集する。

3. 現状

(1) 高齢者が年金のみで十分な生活費を得ることは難しい。高齢夫婦世帯の1か月あたりの平均消費額は約27万円である。しかし、年金受給平均額は夫婦で約22万円である(総務省)。また老後30年間に1,800万円の貯蓄が必要となる(全国銀行協会)。生活費の全てを年金でまかなっている高齢者世帯は54.2%であり(内閣府)、1965万人が十分な生活費を得ていない(総務省)。

日本では人手不足が加速している。

2016年から2025年にかけて392万人の労働者が減少し、2030年には644万人の人手不足が予想される(NTTデータ、パーソル研究所)。

図表13 都道府県別従業者規模別企業数

1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300~999人	1000~1999人	2000~4999人
100,141	20,667	15,660	5,290	2,066	776.4	1,669	479	51	1

鹿児島県	58,579	38,741
沖縄県	50,843	34,488
合計	4,128,215	2,691,725
率	100.0%	65.2%

実際に、全企業の45.9%の約168万社が人手不足に直面している(帝国データバンク)。

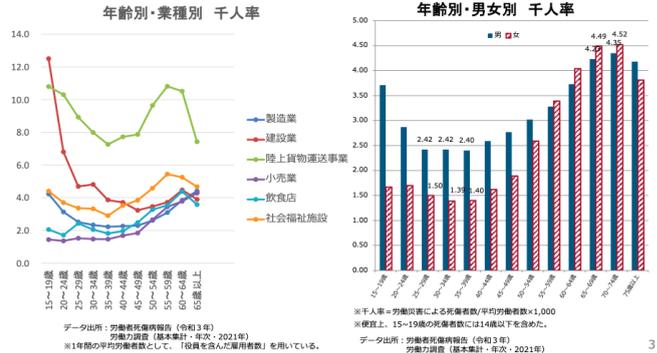
正社員の人手不足割合推移



(2) 高齢者は若者より労災を被りやすい。65~74歳の労災発生率を30代と比べると、男性で約2倍、女性で約3倍である(厚生労働省)。また高齢者は若年層と比べ重症化しやすい。故死の割合は60代の5%から急激に増え、70代後半に15%になる(慶應義塾大学樋口美雄教授)。労災死は60歳以上が43.3%を占める。(東京新聞)

高齢労働者の労災災害の特徴① 年齢別・男女別・業種別の傾向

- ・ 労災災害発生率(千人率)は、男女ともに、若年層と高齢労働者で高い。
- ・ 65~74歳の労災災害発生率(千人率)を、30歳前後の最小値と比べると、男性で約2倍、女性で約3倍。



日本の賃金体系では高齢社員は若年社員に比べ人件費が高い。平成29年の全企業の基本給の決定要素の69%は年齢・勤続年数である(厚生労働省)。

4. 結果・考察

▶メリット▶

① 高齢者の生活の質が上がる

老後に必要な一か月あたりの生活費は27万円であるのに対し年金受給額は22万円と大きく不足している(厚生労働省)。働くことで生活に使えるお金が増えるため、高齢者の生活の質が向上する。

② 企業の人材が増える

日本では労働人口が減っている。定年制を廃止すると、高齢

者は制限なく働けるため、人材確保に繋がる。定年制廃止後、5年間で約490万人の労働力が確保される(総務省のデータより計算)。

前提として、働く上で労災は一定の割合で起こるものである。その上経験不足の面から若者の方が労災率が高く、この問題は高齢者独自のものではない。ターゲットが少なく、企業による対策で高齢者による労災を減少させることも可能である。

一方メリット①は、現状が深刻でありこの計画を採用しなければこの問題は解決することができない。

現在多くの高齢者が生活費不足に直面しており、現行制度では安定して収入を得ることができない。しかし彼らは医療費などの多くのコストを要する。

労災はターゲットが少なく、高齢者が特別労災に遭いやすいわけではない。

生活の貧困化や医療サービスの減少などが起こる可能性があるため、高齢者の生活費不足は深刻な問題であり、この計画によってのみ解決できる。そのためAD1のポイントは優れている。

メリット②で説明したように、日本は長期的で重大な人手不足に直面している。そのため労働者の需要はこの計画を採用するかにかかわらず保たれる。また雇用は景気など複雑な要因による。そのため計画採用後の影響は疑わしい。

また、長期的に見ても人手不足は必ず起こる。経済を構成するのは労働者であり、人手不足が深刻化すれば経済は直接的に衰退するだろう。

この計画を採用すれば大きな労働力5年間で490万人が供給され、これは現状を大きく改善する(総務省)。

メリット②はデメリット③に比べて実現性が高い。

また、経済への影響の量で比較すると、人手不足はより経済全体に直接的かつ大きな影響をもたらす。そのためAD2のポイントは優れている。

6. 今後の課題

今回の研究では自分達の意見・視点しか入っていないので、例えば、メリットのデメリットよりも圧倒的に劣っている点を指摘したり、反対にデメリットの欠点として挙げた箇所を補強したり、メリット・デメリット共にさらに深いところまで切りこむなどもっと多くの人の意見を取り入れて、新たな視点からも見てみたい。

7. 引用・参考文献

メリット

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/z_enbun/s1_2_1.html

平成30年版高齢社会白書 - 内閣府

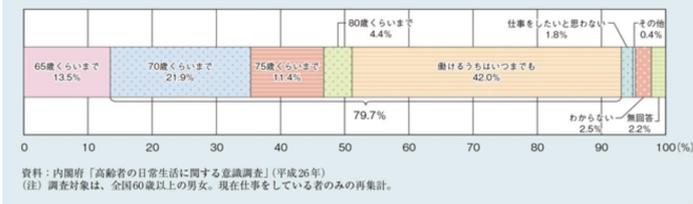
<https://crea-lp.com/blog/invest/cost-of-living-after-retirement-of-the-couple/>

出典:平成30年度厚生年金保険・国民年金事業の概況＝厚生労働省(2018)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12502000/000885298.pdf>
令和3年度の年金額改定についてお知らせします＝厚生労働省

<https://www.zenginkyo.or.jp/article/life/retirement/4385>
全国銀行協会

図1-2-26 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか



平成28年の労働力人口のうち60-65歳は619万人、現在仕事をしている60歳以上の者の79.7%が高齢期にも高い就業意欲

→プラン採用後5年間に定年を迎える人数×就業意欲を持つ人の割合=6,190,000×0.797=4,933,430

▶デメリット▶

①高齢者の健康が脅かされる

高齢者は労災に遭うことが多い。また重症化しやすい。定年制を廃止すれば、働く高齢者の人口が増加し、労災に遭う高齢者の数も増加する。

②企業の人件費負担が増える

日本の賃金体系は年功序列制が主流であり、成果主義へ移行しているといえど浸透しているとは言えない。日本の全企業のうち、基本給の決定要素を年齢・勤続年数と回答した企業は69.9%にのぼった(厚生労働省 平成29年)。そのため勤続年数が長い社員ほど賃金が高額となり、実際に20歳から24歳と60歳から64歳では正社員の平均賃金に約12万円の差がある。(厚生労働省より作成)。

正社員・正職員						
年齢階級	~19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
賃金(千円)	180.2	215.4	249.6	282.8	316.3	343.5
年齢階級	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
賃金(千円)	365.6	392.2	397	328	295.9	283.1

③新卒採用が削られる

定年制を廃止することで、高齢者が企業でいつまでも働き続けることになる。企業の人件費にも上限があることから、新卒採用の枠が削られる可能性がある。

5. 自分たちの提案

企業に対する影響として、肯定側では「人材が増える」、否定側では「人件費負担が増える」という意見が出た。この二つの意見を比べた時に、将来的な年功序列制度の残り方や、高齢者の人材としての価値が争点になるのではないかと考えた。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000551650.pdf>
高年齢者雇用の現状等について＝厚生労働省 2018年
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life21/dl/life18-02.pdf>

令和三年度簡易生命表＝厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzu/z2020/dl/13.pdf>

令和2年賃金構造基本統計調査＝厚生労働省

<https://www.jili.or.jp/lifeplan/lifecurity/1116.html>

高齢者生命保険文化センター

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/20/dl/kekka.pdf>

令和2(2020)年度 国民医療費の概況＝厚生労働省

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/html/zenbun/s1_1_1

令和2年版高齢社会白書(全体版)

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1_2_4.html

4 高齢者の就業 I 平成29年版高齢社会白書(全体版)－内閣府

メリット

パーソル総合研究所 労働市場の未来推計 2030(2018)

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/spe/roudou2030/>

厚生労働省 人手不足の現状把握について(2019)

https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouanteikyoku-Soumuka/20141111-3_1.pdf

厚生労働省 (2009)

<https://www.mhlw.go.jp/topics/2004/06/dl/tp0630-1e.pdf>

東洋経済ONLINE (2017)

<https://toyokeizai.net/articles/-/563670>

人口推計－2022年(令和4年)8月報－総務省統計局

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202208.pdf>

第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査
内閣府

<https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/r02/zentai/pdf/25.pdf>

総務省 労働力調査(2022)

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/4hanki/dt/pdf/gaiyou.pdf>

デメリット

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000943973.pdf>

令和3年 高年齢労働者の労働災害発生状況＝厚生労働省

https://www.pdrc.keio.ac.jp/uploads/event_201803_03_Sakair.pdf

就業者の高齢化が死亡災害発生にもたらす影響:

労働災害データベースによる分析＝樋口美雄

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000943973.pdf>

令和3年 高年齢労働者の労働災害発生状況＝厚生労働省

<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/index.html>

平成30年版高齢社会白書＝内閣府

<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/index.html>

平成30年版高齢社会白書＝内閣府

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000943973.pdf>

令和三年 高年齢労働者の労働災害発生状況＝厚生労働省

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/180299>

東京新聞(Tokyo Newspaper)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000509812.pdf>

平成30年 労働災害発生状況＝厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa07/4-2.html>

平成19年国民生活基礎調査の概況＝厚生労働省
デメリット

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/17/dl/gaiyou03.pdf>

平成29年度就労条件総合調査結果＝厚生労働省

<https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2012/09/pdf/060-074.pdf>

雇用の場における若年者と高齢者＝太田 聡一

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2020/dl/06.pdf>

賃金構造基本統計調査＝厚生労働省

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ037706590T11C18A1EE8000/>

70歳まで雇用継続なら 人件費1.3兆円増 生産性向上カギ＝日本経済新聞

—特撮ヒーローになりたい！—

～撮影技術の秘密に迫る～

研究者 2年1組5番岩瀧利奈 12番小林南歩 16番白木華佳

1. 研究目的

放送45年を超える「特撮」は現在も大人から子供にまで愛されている。なぜこれほど多くの人間から長年支持されているのか、その秘訣を探るために戦闘シーンを中心に研究を始める。

2. 先行研究

(1) アクションについて

1、スーパー戦隊におけるアクションについて

「アクションでヒーローと悪の対比を出すこと(図1)」「自然な動作になるように、道具を工夫したり平面的ではなく立体的にすること(図2)」が基本としてある。

またそれに加えて、意識されることは、「気持ちの表れの延長が動作であること」を前提として、怒っている時は乱暴に、気持ちが揺らいでいる時は動作にも迷いを加える、などを構成にも考慮することである。

ただし「単に派手であれば良いという訳ではない」ので動きに緩急をつける。

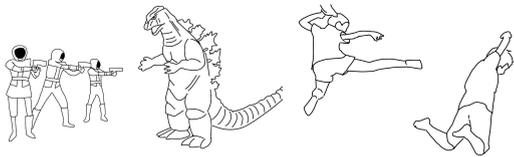


図1

図2

2、実際の作品におけるアクションの種類の傾向。

	回数	具体例
体術	32	受身, 水面蹴り
武器	72	銃, 剣
回転	21	前宙返り
パンチ	10	
キック	17	

注)「怪盗戦隊ルパンレンジャーvs警察戦隊パトレンジャー」から無作為に抽出した10話分を視聴

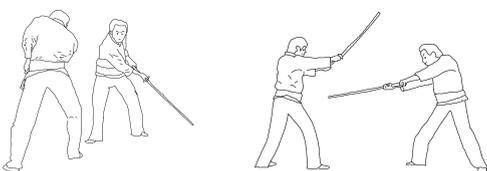
これより、スーツアクターにとって扱いやすい武器による攻撃は圧倒的に多いとわかる。

また体術、回転は敵への攻撃と共に自身の攻撃回避に使用されている。

パンチ、キックなどは動きが他のものに比べて地味であるため、回数が少ない。

(2) カメラワークについて

カメラワークは戦闘シーンをより迫力のあるものにする。



↑一見剣が身体に当たっている様に見えるが、実際には当たっていない工夫。

(3) 爆発について

「爆発」とは特撮において画面を華やかにするなど、大きな効果をもたらす。

特撮では主に以下の2種類の爆発が使用されている。

1、ナパーム爆発



ガンリンと火薬を用いた爆発。炎の赤は興奮する作用があるほか、爆発にインパクトがあるので心理的な効果が大きい。

無作為に抽出した20作品の変身シーンで8作品(全体の40%)に使用が見られる。

2、セメント爆発



セメントの粉を火薬で吹き上げる爆発。建造物が崩壊する時などに役立つ。

3. 研究方法(研究手法)

自分たちで実際に戦闘シーンの撮影を実践する。その際先行研究で学んだカメラワーク、アクション、爆発などの工夫を実用しながら行う。



場所: 科野の里歴史公園
長野県千曲市260-6

カメラ: iPhone12 (1200万画素)

4. 結果・考察

動画を撮影後に音声と映像を編集し約1分の動画を作成した。また、爆破映像(ナパーム爆破)に関しては岩舟爆破体験ツアーの企画運営会社SET UP JAPAN様より動画を提供していただいた。



←カメラワークの工夫を行った場面。カメラを移動させながら撮影した。



←回転のアクションの場面。屋内施設での撮影となった。



←最後の爆破の場面

5. 自分の提案(答え)

- ・施設に至らない点がいくつかあった。
- 例:屋内トランポリン(元の映像と合わない)
 - 屋外の青空の下が望ましい
 - 剣や銃(デザインが重要)

6. 今後の課題

完成度を向上させるために、撮影施設の選定とシナリオの作成に力を入れる必要がある。また、完成作品をどのように活用するのか検討する。

7. 引用・参考文献

- 1)快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー公式完全読本(2019年6月24日 編集:谷村康弘発行:松下大介)
 - 2)殺陣・技斗~魅せるアクションのコツ、動画でわかる実践技術から役作りまで~(2020年12月 著:ジャパンアクションエンタープライズ)
- ・<https://ncode.syosetu.com/n2891fy/> 竹田「余り語られない撮影所のあれこれ(76)」2022年7月24日

日本アニメを守るために -日本アニメーターの労働環境の現状と改善-

研究者 2年5組 14番小宮山徳人、2年6組 22番 武田岬樹、2年3組 35番 緑川幸弥

1. 研究動機

普段見ているアニメがどうやって作られているのか興味を持ち調べてみたところ、日本のアニメーターの労働環境には多くの課題があると感じたので、その原因と改善するための方法を考えたいと思ったから。

2. 仮説

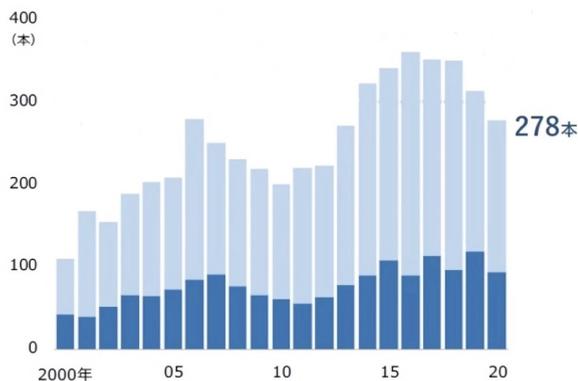
○アニメーターの労働環境

	年収	労働時間
日本のアニメーター	440万円	10時間
海外のアニメーター	780万円	10時間
日本の平均	467万円	8時間

「一般社団法人日本アニメーター・演出協会アニメーター実態調査2019」より

▲日本のアニメーターの年収が低い。

○日本アニメのタイトル数の変化



[出典]「アニメ産業レポート2021」（日本動画協会）を基に帝国データバンク作成

▲年々アニメタイトル数が増加している。
→アニメーターの仕事も増える。

3. アニメーターの収入が低い原因

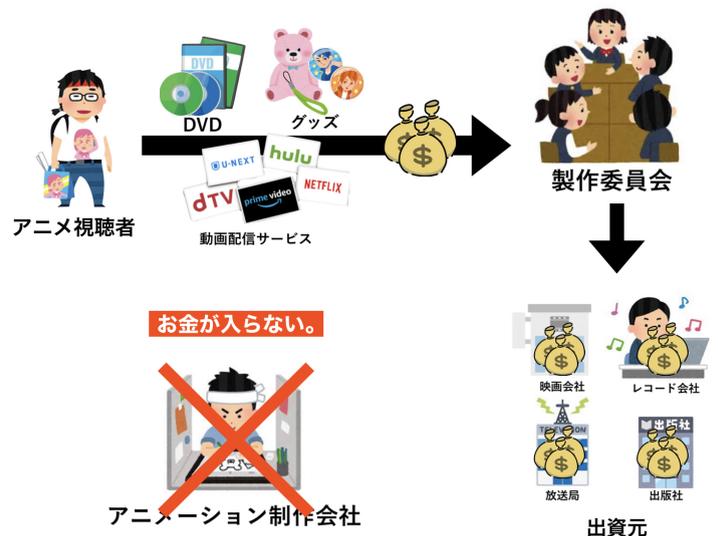
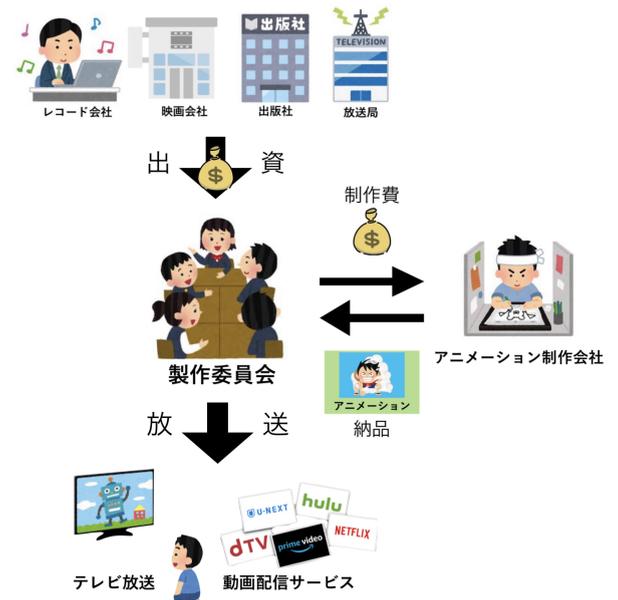
※「制作」と「製作」の違い

□制作：映像となる作品を作ること。

□製作：企画立案、資金調達、宣伝、配給、興行など、作品を世に出し、売るための活動。

○製作委員会方式

→日本のアニメのほとんどで用いられている方式。



メリット

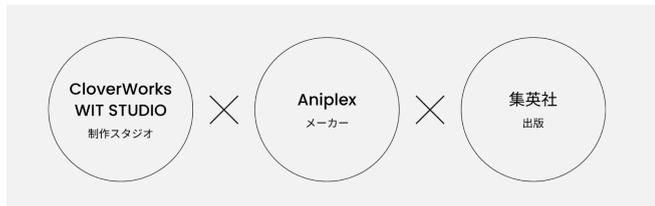
- ・アニメが失敗した時の、リスク分散になる。
- ・多種多様な企業が出資することで、広告宣伝がやりやすくなる。
- ・2次利用によって、いろんな販売戦略を立て売り上げUPが見込める。

デメリット

- ・アニメーターに利益還元されにくい。
- ・出資する企業の意向でアニメ制作が制限される。
→その作品の良さを消してしまう場合がある。

4. 解決策

JOEN



□ CloverWorks, WIT STUDIO
日本トップクラスの2つアニメ制作会社。

□ Aniplex
アニメーションなどの映像作品の企画・制作や、販売・映画配給などを主な事業とする日本の企業。

□ 集英社
週刊少年ジャンプなどを出版する、多くの原作を持つ出版社。

それらが一つになった会社が「JOEN」

○「JOEN」でのアニメ制作の流れ

- ① 集英社が持つ原作のアニメ化をAniplexが企画。
- ② CloverWorks, WIT STUDIOがアニメ制作。
- ③ Aniplexがテレビ、動画配信サービスなどで放送。

メリット

- ・アニメ制作が「JOEN」の中だけで完結する。
- ・アニメーターに利益還元されやすい。
- ・アニメ制作会社主体のアニメ制作ができる。

デメリット

- ・4社のみのお資でできているためアニメが失敗した時の損失が大きい。

5. 考察

- アニメーターの収入が低いのは、制作委員会方式が大きな要因。
- 制作委員会方式をとる理由は、資金不足とリスク分散。
- JOENの方法で、もう少し多くの資金があれば、質の高いアニメ制作とアニメーターの労働環境の改善ができるのではないか。

6. 提案

□アニメ制作へのクラウドファンディング

- ・目標金額を設定し、達した場合はアニメ制作達しなかった場合は返金する。
- ・出資者に、特典を用意。
(グッズ配布、エンドロールに名前を載せる など)

※2016年に公開されたアニメ映画「この世界の片隅に」では、クラウドファンディングによって集められた約4000万円から制作され、興行収入27億円の大ヒットとなった。

メリット

- ・制作委員会での出資と違い、出資元に収入を分配する必要がない。
- ・クラウドファンディングによる宣伝効果がある。
- ・集まった金額によりどの作品がアニメ化したら売れるのか、ファンの期待値などがわかる。

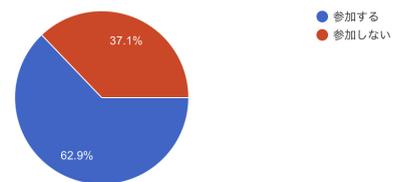
デメリット

- ・無名作品の出資が集まりにくい。
- ・出資が集まらなると制作ができない。

○アンケートの結果

Q.1 あなたの大好きな作品のアニメ化、続編制作のためのクラウドファンディングがあったら参加しますか？

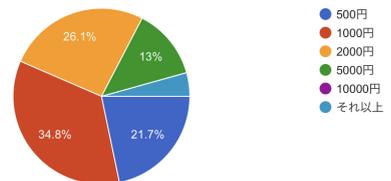
35 件の回答



▲ 参加するという人の割合が多い結果となった。

Q.2 何円くらい出資しますか？

23 件の回答



▲ 1000円～2000円という回答が多かった。

○アンケート結果より、クラウドファンディングを実施したら、多くの資金が集まるのではないかと考えられる。

6. 今後の課題

クラウドファンディングを行うことで、人気のある作品のアニメ制作現場や、アニメの質は良いものになると考えられるが、無名作品の資金が集まりにくいと思うので、そのような作品への対策も考えていきたい。

7. 引用・参考文献

アニメーターの収入は?海外との比較や仕事内容も!

<https://eoo.today/media/2021/09/13/6596/>

アニメーターの平均年収はどれくらい?かなり低って本当?

<https://www.tosho-trading.co.jp/career/animater-nenshu/>

日本アニメにおける制作委員会方式とはどのようなしくみか

<https://paradigm-shift.co.jp/column/139/detail>

「制作委員会」のメリット・デメリット

<https://magmix.jp/post/42382>

JOEN

<https://jo-en.co.jp/>

映画やアニメの制作委員会方式とは?

https://chizai-faq.com/2_copyright/2920

Stand With Ukraine

— 私たちに出来ること —

研究者 2年2組10番 春日大翔
2年2組34番 星野祐太
2年3組19番 杉原琉希
2年5組17番 菅原羽琉

1. 「ウクライナ情勢」と研究動機

2022年2月24日(以下全て日本時間)早朝、ロシアのプーチン大統領によってウクライナ東部での「特別軍事作戦」の実施が発表され、首都キーウ(キエフ)などへのミサイル攻撃や空爆が始まり、現在まで続く「ウクライナ情勢」に陥りました。

当初よりも注目が薄れてきつつある「ウクライナ情勢」ですが、世界的規模で捉えられるべきこの問題について調べ、至った経緯や現状を理解し、知識を深め、少しでも力になりたいと感じ、この研究を行うことに決めました。

2. 現状

2022年2月24日、ロシアがウクライナの首都キーウの陥落を目指し、北部・東部・南部の3方向から軍事侵攻開始。(図1)

もるウクライナ兵の抵抗の拠点となっていた製鉄所を攻め続け、ロシア国防省は5月20日、マリウポリの完全制圧を主張。(図2)



図2 5月20日時点の戦況地図



図1 2月24日時点の戦況地図

ロシアはウクライナ第2の都市ハルキウなどの東部地方を中心に激しい攻撃を加え、3月上旬には南東部の港湾都市マリウポリも包囲。

しかし、ウクライナの抵抗とともに、前線への補給体制の不備、戦力の喪失といった事態に陥り戦況は動かず。4月に入り、ロシアは首都キーウからの撤退を余儀なくされる。

その後ロシアは戦力を再編成。東部、南部制圧を目指す。一方、ウクライナは各国からの支援を受けてロシアに徹底抗戦。

しかし、マリウポリでは、ロシアが兵士と民間人が立てこ

その後も莫大な資金と労力を費やしウクライナ侵攻を続けるプーチン大統領に対しロシア国内では、国内問題を無視しているとして非難の声が高まっている。

ちなみに...

フォーブス・ウクライナは2022年11月下旬、ロシアがこれまでにウクライナ侵攻に約820億ドル、日本円にして約11兆1100億円使ったと試算している。

また、戦費はかさむばかりで、戦いを続けるには少なくとも月に100億ドル、日本円にして約1兆3500億円かかると伝えている。ウクライナ、ロシア両国の多くの国民が、整備の行き届かない都市で凍えながらわずかばかりの給料で生活している。

3. ポスター作製

現在、千曲市役所では「ウクライナ避難民支援のための募金」が行われており(2022年11月22日時点で、2023年3月31日までの延長が決定)、募金箱が設置されています。この募金は、千曲市出身で本校の卒業生である坂本龍太郎さんがポーランドで行っているウクライナ避難民のための人道支援活動に利用されるものです。集まった募金は坂本さんに送られ、ポーランドでの救援活動に充てられています。

この活動を担当していらっしゃる千曲市総務部総務課の清水さんとお話をさせて頂き、この募金を推進できるようなポスターを作製し、千曲市役所庁舎1階に、掲示させて頂けること

になりました。それぞれがアプリなどを駆使して募金を推進できるようなポスターを各自1枚ずつ、計4枚作製しました。あらかじめ清水さんに募金についての情報をお聞きし、どのようにすれば募金に協力してもらえるようなポスターを作れるか、考えていること・伝えたいことをどう言葉にすればいいのかなどを試行錯誤しながら作りました。掲示して頂いているポスターは以下の4枚(図3)です。



図3 計4枚の募金推進ポスター

4.ポスター掲示

千曲市長の小川修一様宛に「ポスター掲示についての依頼書」を提出し、依頼を承認して頂いたので、千曲市役所庁舎1階に、作製した計4枚のポスターを掲示させて頂きました(図4)。募金の期間が終わるまで掲示させて頂く予定です。担当の清水さんと検討をし、ありがたいことに人の目につきやすい場所に掲示させて頂くことができたので、千曲市役所に訪れた際は是非探してみてください。

また掲示の際に、ちくま未来新聞の記者の白石さんから取材を受けました。2022年9月の記事に掲載されているので、そちらも是非ご覧ください。



図4 ポスターを掲示する杉原くん

5.今後の課題

今回の活動では、千曲市役所で行われている「ウクライナ避難民支援のための募金」を推進するポスターを作製し、庁舎内に掲示させて頂きました。この活動を通して、自分達自らウクライナ支援に加担し、微力ながらも貢献することができたと思います。自分達で募金を募ることも視野に入れて活動してきましたが、結果的に実現することができませんでした。もっと早い段階からの計画と実行が必要だったと感じています。『募金活動や募金を推進するポスター以外の他の手段で、より深くウクライナ情勢について知ってもらい、支援がより活発になるために自分達には何ができ、何が必要か』

実験や観察をする活動ではなかったために、結果が出るものではありませんでしたが、募金やポスター作製以外にも、私たちに出来ることはまだまだたくさんあると思います。現にメンバーの中にも、日常生活の中でウクライナ支援の募金箱を見つける度に必ず募金をしている人もいます。金額や量が大事だということではありませんが、募金に限らず、そういう小さなことを今後も積み重ね、いつか現地の人たちの救いとなる大きなものになったらいいと考えます。

6.謝辞

ポスターの相談を快く受け入れてくださった千曲市総務部総務課の清水様をはじめとする千曲市役所の皆様、ポスターでの名前の使用を許可してくださった坂本龍太郎様、指導担当の中村智章先生に深く御礼申し上げます。

7.引用・参考文献

- Yahoo!ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/special/ukraine-crisis2/>
- NHK NEWS WEB
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20221124/k10013901591000.htm>
- 朝日新聞デジタル
<https://www.asahi.com/articles/ASQ5P2CHBQ5PUHBI00C.html>
- BUSINESS INSIDER
<https://www.businessinsider.jp/post-262797>

路地裏ファンタスティック!!

—何年も続くようなイベントに—

研究者 2年4組31番 松田 悠基
2年4年12番 清水 結一
2年4組37番 村松 優希
2年1組24番 田中 大成

1. 研究目的

研究目的は、毎年戸倉上山田で行われている「路地裏ファンタスティック!!」というイベントを何年も続くようなイベントにするために、より多くの若い人たちに来てもらえるようにするため、である。ここでいう若い人というのは主に我々と同世代の10代を指す。様々な世代が参加するイベントではあるが、10代という年齢層には特に発信力が見込めると思い、広い世代に加えてさらに若い人に来てもらおうという考えに至った。

2. 路地裏ファンタスティックについて



↑当日の様子

「路地裏ファンタスティック!!」とは、戸倉上山田温泉街の、銀座通り商店街で行われる“ファンタスティック”なイベントで、今年は11月13日(日)の9時から13時に開催された。

イベント設立の背景は、「戸倉上山田は夜の街」というイメージを覆し、「昼も明るくて、楽しい上山田」という面も広めたいと考えたことにあるようだ。

このイベントでは、具体的には、料理や、クラフト雑貨などを楽しむことができる。また例年、屋代高校生が運営に協力している。今年は2学年の課題探究のグループに出店してもらった。

3. 現状

(1)先輩方の反省より

「路地裏ファンタスティック!!」には、数年前(設立時)から屋代高校の先輩方が関わってきた。その過程で得られた反省点として以下のことが挙げられていた。

①良かった点

ア.高校生スタッフの動きが良かった。

イ.地元の店舗が出ており魅力的であった。

ウ.他のイベントから流れて来てくださる方がいた。

エ.保育園に配布したのがよかった。(家族連れの方も多くいらしていた)

②改善したい点

ア.他のイベントでのチラシ配りをすると良かった。

イ.小中高生へのPRが不足していた。

ウ.チラシ作りや出店者を集めるのに時間がかかってしまった。

(2)現状の考察

これらの反省点から、私たちは以下のように考察した。

①私たち世代の活動があるとより若い人へのPRになる可能性がある。

②宣伝はチラシやイベント参加に加えてSNSの利用があると小中高生の中でも特に中学生への宣伝に良い。

③他のイベントへの参加も検討すると良い。

④主催者の方と連携をとり、役割を分担すると良い。

4. 研究方法(研究手法)

(1)方法1

まず、①について調べるために校内で出店して下さるグループを募集した。その結果、同じ2年生の課題探究のグループ「ろどこった」の皆さんが出店して下さることになった。「ろどこった」は千曲市の杏をPRするため、自分たちで作った杏のお菓子を千曲市内外で行われる様々なイベントで販売しているグループである。

(2)方法2

次に、同じことについて調べるために自分たちでも企画を運営することにした。その企画として「ろじうらフォトロゲイニング」という企画を行うことにした。「ろじうらフォトロゲイニング」とは参加者の方々にお題の写真と同じアングルの写真を撮る場所を温泉街の中から探してきてもらい、写真を撮ってきてもらうという企画である。

(3)方法3

そして、②について実際に来ていただいた人の年代や来た理由を調べるために路地裏ファンタスティックに来ていただいた方々に紙媒体のアンケートまたは電子

版アンケートをとった。

(4)方法4

③について、私たちは地域の方との繋がりを作ることやイベントをより多くの方に知ってもらうために「ガラクタ市」に二回、また「ちくままちづくり文化祭」に参加した。↓ちくままちづくり文化祭のトークセッションコーナーへの参加の様子

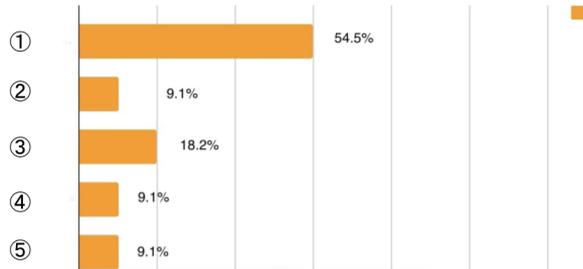


町おこしに関する若者の考えを共有するとともに路地裏ファンタスティックの宣伝も行った。

5. 結果・考察

(1)方法1について

10代イベント参加理由内訳



(選択肢)

- ① 高校生のブースがあったから。
- ② 気になる出店者がいたから。
- ③ なんとなく面白そうだったから。
- ④ 親戚が出店していたから。
- ⑤ 地元に住んでいるから。

※四捨五入があるため合計は100%にならない。

上のグラフは10代の路地裏ファンタスティック参加理由内訳である。

このデータから若い人たちが高校生のブース目当てに来ている人は多いということがわかる。また、当日若い人たちが高校生のブースに沢山来ていて、そのブースは早く完売になってしまったということがあった。したがって高校生がブースを出すことによって若い人たちを呼び込めることがわかった。

(2)方法2について

「ろじうらフォトロゲイニング」はあまり参加してもらえなかった。その理由についてはいくつか考えることができるが、

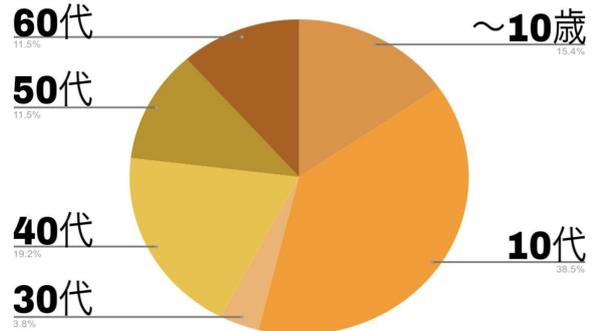
- ① 問題が難しかった。
- ② 参加方法がわかりづらかった。

③ 場所がイベント会場と少し離れていて、やりたくなるような仕組み作りができなかった。

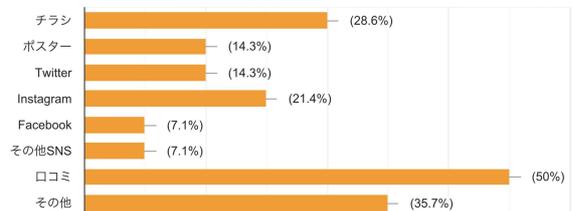
④ 景品があまり豪華でなかった。などが挙げられると思う。この取り組みを行えたこと自体は良かったと思うし、何人か参加してくれた人もいたが、まだまだ改善すべき点が残る企画であった。

(3)方法3について

グラフ1 来場者アンケート(年代について)



グラフ2(イベントを知った手段について)



上のグラフのような結果になった。

アンケートに回答して下さった方の年齢層の偏りはあるが、グラフ1からわかるように、20代未満の方の割合がおよそ過半数を占め、若い方々が多く訪れていたことがわかった。また、40～60代の方も続いて多く訪れていたこともわかり、会場においてもそのような印象を受けた。小さい子供を連れた家族も多く、幅広い年代の方が来場していた。またグラフ2より、イベントを知るきっかけについて、「チラシ」や「SNS(TwitterやInstagram、Facebook、その他SNS合計)」、「口コミ」が多いとわかった。したがって、SNSでの発信には集客の面で一定の効果があると言える。

(チラシや口コミの効果については次の項目で示す。)

(4)方法4について

(3)で示したグラフ2では、先ほども述べた通り、チラシや口コミでイベントを知った人も多いと分かる。事前に参加した「ちくままちづくり文化祭」では、チラシを用いた宣伝やトークセッションでの口頭での宣伝ができたので、その効果が現れているのではないかと思った。また他イベントに参加することで「路地裏ファンタスティック!!」の出店者にお会いすることもできたので、地元の方との繋がりも作ることができた。

6. 自分の提案(答え)

(1)提案1

イベントに若い人を呼び込むためには同じくらいの年代の人が出店することが効果がある。理由としては、特に路地裏ファンタスティックのようなイベントでは、場所がレトロな温泉街ということもありなんとなく若い人たちは行きづらいと感じてしまうことがある。しかしそこに同じ年代の若い人が出店することで、少し行きやすくなったり興味を持ってもらいやすくなるからであると思った。

(2)提案2

「ろじうらフォトロゲイニング」の改善点

- ①問題があまり難しくならないようにし、短時間でできるものにする。
 - ②参加方法をわかりやすくし、事前に宣伝を行う。
 - ③場所をイベント会場に設定し、参加するハードルを下げる。
 - ④景品を豪華にする。出店している方と連携した景品にしても良さそう。
- と言ったことが挙げられる。今回あまり参加が無かった一番の原因は、場所が会場から離れていたことや、参加方法の分かりにくさによる参加のハードルの高さだったため、その改善が重要だと考えられる。

(3)提案3

今回の調査で若い年代の方々が多く来ていると言うことがわかった。なのでこれからは、いかにして若い方々を多く集めていくかと言うことよりもいかにして全年代、特に20代と30代にきていただくかと言うことが重要になってくるのではないかと思った。提案の理由として、今回の調査では更に多くの発信力を見込むことができる、と言うことから若い年代の方々にきてもらえるよう努めた。しかし今回の調査でかなりの数の若い方々にきていたと言うことがわかったため、今後は発信力を含めてこのイベントについて継続を維持してもらえる見込みのある20代、30代の人を多く集めていく必要があると感じた。

(4)提案4

SNSの利用に加えて、他のイベントへの参加を行い、イベント運営や企画立案のヒントを得たり、人との繋がりを築いたり、イベントの周知を図ったりすると良い。地元のイベントから参加し、徐々に活動範囲を広げていくと尚良い。

7. 今後の課題(運営に関して)

今回アンケートを回答してもらった際、どの方が路地裏ファンタスティックから帰る方だったのか判別が付きにくく、声をかけることを躊躇ってしまうことが多かった。そのため次回から、今回よりももっと積極的に声をかけてアンケートに協力していただける様にしていかなければならないと感じた。

今回アンケート調査では路地裏ファンタスティックに来ていた理由の調査では、我々が活用したSNS関連でイベントを知ってきた方の数は少なく大多数の方々が口コミで知ってイベントに来ていたため、今後そのことについても口コミを活用していくなどの方法の調査も重要になってくるのではないかと感じた。

8. 引用・参考文献

全グラフ出典は我々の調査アンケート

9. 謝辞

- ・路地裏ファンタスティックにご来場いただいたすべての方々
- ・路地裏ファンタスティック実行委員会の方々
- ・ポスター作成にご協力して下さったCLOUD CUCKOO LANDの方々
- ・戸倉上山田温泉銀座通り商店街の方々
- ・本校2年課題探究グループ「ろどこった」の方々
- ・本校2年課題探究グループ「千曲市を動画でPRしよう」の方々

ご協力いただき、ありがとうございました。

↓集合写真

